

屋島総合病院 & 糖尿病チーム会 活動紹介



当院は2016年11月、新築移転した279床の二次救急病院です。新病院の体制として、急性期病床・回復期リハ病床・地域包括ケア病床をもち、急性期から在宅までを見据えた地域完結型の役割を担っています。

病院の基本方針の一つに、「常に医療の質の向上に努め、確実な医療技術を持った医療チームとして地域医療に貢献する」があります。そこで、CDEJの取得者が多職種にわたり在籍する当院では、2015年1月、糖尿病チーム会が発足しました。目的は①その人にあつた療養指導をチームで実践する②院内の糖尿病療養指導に関する知識の向上です。現在メンバーは糖尿病専門医1名、糖尿病看護認定看護師1名、CDEJ(看護師7名・薬剤師5名・臨床検査技師1名)、管理栄養士1名・フットケア研修(看護協会)修了者3名です。



チーム会は、毎月第4火曜日に行っており、主な活動内容は①患者カンファレンス②院内の研修企画(年5回開催、そのほか新人研修も担当)③糖尿病に関するインシデントレポートの検証等です。



糖尿病教育を1週間コース(入院)で行っており、各担当者がレクチャーをし最終日には教育に関わったスタッフ全員で検討会を行っています。看護外来として2011年7月にフットケア外来を開設し、毎週水曜日午後1日2~3名の予約枠で実施しています。外来CDEJ看護師、糖尿病看護認定看護師により、フットケアを行い適宜皮膚科医師へ相談しながら、重症化予防に努めています。

病院の理念でもある、

①やさしい、②しんらい、③まごころで、

これからもスタッフ一同患者さまに接していこうと思います。

〈文責 岡田亜子〉